

|                                   |  |   |  |   |                                     |
|-----------------------------------|--|---|--|---|-------------------------------------|
| 漢字・語彙力                            | 論理的言語力   | 論理的読解力A   | 論理的読解力B  | 論理的思考力                                    | 論理的表現力                              |
| 漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。 | 日本語を論理的に扱う力。一文の構造を論理的につかまえたり、「ことばのつながり」、助詞・助動詞などの適切な使い方。 | 物語文を、主観を入れずに、客観的に読み取る力。あらすじ・情景描写・登場人物などの心情を把握する力。 | 論理的な文章を正確に理解する力。筆者の主張やその理由などを把握する力。文と文との論理的関係を理解する力。 | 文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。 | 他者に向かって、論理的に話す力。絵を客観的に分析し、一文で表現する力。 |

《問題Ⅰ》漢字・語彙力 (60点)

\*\*\*

●答え

第一問

- (1) 【漢字】ア 【意味】コ
- (2) 【漢字】イ 【意味】カ
- (3) 【漢字】オ 【意味】ケ

第二問

- (1) 強風 (2) 教科 (3) 来週
- (4) 兄弟 (5) 病院 (6) 親切

第三問

- (1) 長い 行列が 店の 前に できていた。
- (2) 屋上で わたしは きれいな 星空を ながめていた。
- (3) 東京に たくさんの 人が 住んでいる。
- (4) 今夜の 夕食は ぼくの 大すきな ハンバーグだ。

■配点

第一問 各6点(漢字・意味 各3点)

第二問 各3点

第三問 各6点(ならべかえ・漢字 各3点)

◆解説

第一問

体の一部を使った慣用句です。よく使われる慣用句なので、意味をおぼえましょう。

第二問

- (1) ぼうしが飛ばされた理由だから「強風」で。
- (2) 「書」につづいて言葉になるのは「教科書」しかありません。
- (3) 「楽しみ」なのだから、未来のことだとわかります。
- (4) 「長男」なので、「兄弟」をえらびます。「長女」なら「姉妹」になります。

《問題Ⅱ》論理的言語力 (20点)

\*\*\*

●答え

第一問

- (1) 主語…朝食は じゅつ語…おいしかった
- (2) 主語…父は じゅつ語…かいた
- 第二問 (1) 花が (2) プリンが
- 第三問 (1) の (2) を (3) で (4) が

■配点

第一問 4点(主語・じゅつ語 各2点)  
 第二問 各2点 第三問 各2点

◆解説

第一問

じゅつ語から、主語を考えます。主語とじゅつ語がわかれば、文の要点がわかります。

- (1) じゅつ語「おいしかった」に対して、「何が」に当たるのが「朝食は」。
- (2) じゅつ語「かいた」に対して、「だれが」に当たるのが「父は」。

第二問

言葉のつながりは意味から考えます。  
 (1) 「色とりどりの」は「花が」を説明した言葉。  
 (2) 「四つの」は「プリンが」を説明した言葉。

第三問

助詞の使い方をチェックしましょう。

\*\*\*

《問題Ⅲ》論理的読解力A (40点)

●答え

第一問 雲見

第二問 (1) ウ (2) エ (3) ア

第三問

雲のみね(が)、カエルの頭の形(や)春のカエルのたまご(に)にているから。  
 第四問 平たい  
 第五問 ゴムぐつ  
 第六問 ぼくたち(の)ゴムぐつ(は)、ヘロン(の)ゴムぐつ(とは)、大きさ(も)形(も)ちがう(から)。

■配点

第一問 6点 第二問 各2点  
 第三問 8点(完全解答) 第四問 6点  
 第五問 6点 第六問 8点

◆解説  
必ず問題文中に答えがあります。それを探すようにしましょう。

第一問

本文九行目に「雲見」とあります。カエルたちは、「花見」や「月見」ではなく、雲をながめる「雲見」をしています。

第二問

- (1) 「見えます」とあるので、「目」。
- (2) 「永遠の」とあるので「生命」。
- (3) 「手に入れる」とは、自分のものにする。

第三問

直後に「そのわけは」と、理由が書かれています。

第四問

「ペネタ形というのは」の後で説明されています。

第五問

直前の会話で、カエルたちは、ヘロン（人間）のゴムぐつについて話しています。ゴムぐつをほしがっていることがわかります。

第六問

直前に「ぼくたちのは〜から」と、理由が書いてあります。解答らんに合うように、「ぼくたちの（ゴムぐつ）は、ヘロンの（ゴムぐつ）とは〜と、省略されている言葉をおぎなつて答えましょう。

◆問題Ⅳ◆  
論理的思考力 (30点)

●答え

第一問 A→D→C→B

第二問

- (1) わたし (2) 図書館
- (3) 行った (4) 本
- (5) かし出し中だった
- (1) わたし (2) チーズケーキ
- (3) 作った (4) お父さん
- (5) 食べた

◆配点

第一問 10点 (完全解答)

第二問 各10点 (①〜⑤ 各2点)

◆解説

第一問

B「なぜなら」、C「でも」、D「たとえば」からは始まらないので、最初はAとわかります。Aの後、D「たとえば」が来

て、Aの「あまいおかし」の具体例をのべています。その後、Cで「でも〜」と、直前と反対の内容をのべて、その理由をB「なぜなら〜」で説明しています。

第二問

主語、じゅつ語、目的語がわかれば、文章の中心が分かります。

- (1) 前半の文章の主語は「わたしは」で、じゅつ語は「行った」。どこへ行ったかをおぎない、「わたしは図書館へ行った」という文が中心となります。
- 後半では、主語が「本は」、じゅつ語が「か出し中だった」なので、「本はか出し中だった」という文が中心になることがわかります。「でも」を「が」に置きかえ、前半と後半の文の中心をつなぎます。
- (2) 前半の文章の主語は「わたしは」、じゅつ語は「作った」、目的語は「チーズケーキを」。文の中心は「わたしはチーズケーキを作った」となります。後半の文章の主語は「お父さんが」、じゅつ語は「食べた」、目的語は「それ（チーズケーキ）」なので、文の中心は「お父さんが（それを）食べた」です。

◆問題Ⅴ◆  
論理的読解力B (30点)

●答え

第一問 (1) 時計 (2) 動物園

(3) 玉ねぎ

第二問

- (1) プラスチック
- (2) ① ア ② ウ ③ エ
- (3) くさらず(に)、そのままの形(で)の(こ)つて(しま)う(から)。

◆配点

第一問 各3点

第二問 (1) 3点 (2) 各3点

(3) 9点 (各3点)

◆解説

第一問

指示語の問題です。指示語は、基本的に前にのべたことを指すので、直前にある言葉から検討します。

- (1) 何を買ってもらったかという点、直前の「時計」。
- (2) 「そこ」は場所をあらわすので、直前の「動物園」。
- (3) お母さんは「あれをわすれていた」と言っているの、直前に指示内容はあり

ません。前にない場合は、後ろを検討します。「玉ねぎをかごに入れ」とあるので、わすれていたのは「玉ねぎ」とわかります。

第二問

(1) この文章の話題を考えます。プラスチックの性質や利用方法など、プラスチックについて書かれています。

- (2) ① 直前で「わたしたちの身近なところで広く使われています」とあり、直後に具体例が書かれていますので、「ア」たとえば。
- ② 直前でプラスチックの良いところをのべているのに対し、直後は問題点をのべているので、「ウ」ところが。
- ③ 直前に書かれていることの理由を直後にのべているので、「エ」なぜなら。
- (3) 直後に理由が書かれています。

◆問題Ⅵ◆  
論理的表現力 (20点)

●答え

第一問 (1) ウ・エ (2) イ

第二問

- (1) つくえ (2) 本だな
- (3) ベッド (4) 電気スタンド
- (5) カレンダー (6) ぬいぐるみ
- (7) 時計

◆配点

第一問 (1) 4点 (2) 2点

第二問 各2点

◆解説

絵を見て、客観的に説明する力をためます。

第一問

- (1) つくえの上にあるのは、カレンダーと電気スタンド。
- (2) 本だなの上にあるのは、ぬいぐるみ。

第二問

- 第一問をもとに答えましょう。
- (1)(2)(3) 家具は、右から順に、つくえ、本だな、ベッド。いすもありますが、「(1)の手前にはいすがあって」とあることから、(1)はつくえで、いすはふくまれないとわかります。
- (4)(5) 第一問(1)の答えを参照します。右から順に答えることに注意。
- (6) 第一問(2)の答えを参照します。
- (7) かべにかかっているのは、時計。